

最初の被害時の、加害者と被害者の状況について

石田 郁子

この表は、2019年に私が認知処理療法（CPT）という治療を受けていた頃、教員の家についていってしまった私が悪かったのではないかと、15歳の自分は被害を防げたのではないかとずっと悩んでいた頃に、自分がどういう状況だったかを知るために書いたものです。表を書いた結果、成人である教師と未成年の15歳の私とは歴然とした経験や力の差があることがやっと理解でき、支配関係にされても仕方ないと理解できました。

思春期はまだまだ子どもなのですが、体の大きさは大人に近づくため、多くの大人がそのことを忘れて、大人と変わらないだろうと誤解してしまいます。卒業アルバムなどでご自身の15歳、18歳の写真を見ると、まだまだ子どもだったなと思い出されるかと思います。

	加害者教師	石田
当時の年齢	28歳	15歳
職業	中学校教師5年目ほど	中学3年生
住居	アパートを借りている	生まれた頃から自宅に住んでいる 自分で家を借りたことはない
生活形態	アパートで一人暮らし	学校に行く以外は親にやってもらっている
収入	給料をもらっている	お小遣い月3,000円
一人で移動した最大距離	飛行機に乗って北海道外に行ったことがある	JR札幌駅かその近くの美術館。自宅から1時間くらいの距離
車の移動	車、免許共に持っている	親が運転する車に乗るだけ
飲酒、喫煙	経験あり	なし
学歴	大学卒業	小学校、中学校卒業
恋愛	結婚、離婚も経験あり	交際経験なし。同級生が誰々が好きらしい、誰々とつきあっているらしいというのが当時盛り上がる話題の一つ。それまでは漫画でしか知らない。
性的な経験	性行為まで経験あり	全くない。保健の授業で3回くらい聞いたか、同級生が茶化して話しているくらい。
体の成長	だいぶ前に止まっている	月経はきたが、身長が年に1センチまだ伸びているくらい